

コード	20401
作成年度	26年度

基本事業評価表

基本事業名称	安全で良質な水の安定供給の推進
--------	-----------------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	暮らしを支える水道の整備

課コード	114	関係課名
主管課名	水道課	

基本事業の目的

水道は、住民の健康で快適な生活を支えるライフラインとして、また、企業などの経済活動を支える社会基盤として、いつでもどこでも安心安全な水道水を安定的にかつ低廉な価格で供給することを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	給水原価	成果指標名称 2	
成果指標の積算根拠	給水原価実績÷目標給水原価	成果指標の積算根拠	
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	
目標達成数値	300.0円	目標達成数値	

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果指標 1	目標 A	単位	円	300	300	300	300	300
	実績 B		円	338	355	342	345	-
	達成率 B/A		%	88.8	84.5	87.7	87.0	
成果指標 2	目標 A	単位						
	実績 B						-	
	達成率 B/A		%					

1次評価	現状	既存の水道施設は、老朽化により更新時期を経過していることから、漏水対策を行ってもなかなか有収率向上に結びつかない。水道施設情報装置等の本庁集中監視整備に多額の費用がかかるため、本庁にて一括管理ができない。
	課題	水道基幹施設の老朽化による更新及び施設の統廃合、また、高度な水質を保つための施設整備が必要であり、今後も設備投資を要する。平成28年度までに企業会計を導入し独立採算を基本とする上水道へ移行しなければならないが、更なる受益者負担を招くため、組織の見直しを含めた計画的かつ慎重な準備を要する。
	改善	早期に水道施設情報装置等の本庁集中監視整備を行い本庁一括管理とし、積極的に施設の統廃合や組織機構の見直しを行い、より一層の合理化・効率化を図りながら、更なる給水コストの縮減に努める。

2次評価	町民生活や産業活動等に欠くことのできないインフラ事業であり、水の安定供給を確保するため、水道施設の維持・管理は適正に行い、より良いサービスを提供していくこと。また、独立採算性を基本とする企業会計への移行について準備を進めていくこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	204010108	奈良尾地区統合簡易水道整備事業	水道課	240,913千円	(途中) このまま事業を継続
2	204010109	有川地区統合簡易水道整備事業	水道課	133,649千円	(途中) このまま事業を継続
3	204010110	簡易水道事業資産評価業務委託事業	水道課	8,309千円	(途中) このまま事業を継続
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				382,871千円	